

平成27年4月実験速報

年長児（4月23日）

単元 集合数・順序数の概念（I）

教材 横に並べた積み木10個と、タンバリンとカスタネット。

実験内容

問1. 例：担任がタンバリンを3回叩いたら、園児は積み木を左から3個、左へ移動する。カスタネットを3回叩いたときは、左から3番目の積み木1個を園児手元へ移動する。

問2. 例：担任が幼児から見て左から3個の積み木を左側に移動したときは、タンバリンを3回叩き、3個目の積み木1個を幼児の手元へ移動したときは、カスタネットを3回叩く。年中児の時にも同様の実験を行っている。

問1. 問2. ともタンバリンとカスタネットを混合して5拍までで実験した。

結果 女児1名の理解度が低かったが、他は概ねよく理解している。十分に練習させたのがよかった。

大きい数で間違える園児が目立ったが、2拍や3拍で間違えるのもいた。楽器を間違えるのや、積み木の移動法を間違えるのがいた。数えている園児もいる。

年中児（4月22日）

単元 拍数と集合数の概念

教材 横に並べた積み木8個とタンバリン（問1. 2.）、色々なものが書かれたイラスト図（問3.）

実験内容

問1. 担任がタンバリンを叩いた回数（4回以下）だけ幼児が積み木を取る。

問2. 担任が机に置いた積み木の数だけ幼児がタンバリンを叩く。

問3. 絵の中の、猫の数や黄色いものの個数だけタンバリンを叩く。

結果 問1. では、積み木を重ねて一まとめにさせたため、積んで乗せるときに発生する音数をタンバリンの拍数と同数にして、積み木を1個多く取った園児が数人いた。5個や5拍で間違える園児が多い。問1., 2. とも、年長児とは違って、数えたものはいなかった。

題意が理解出来てない園児が多かった。説明や練習をもっと丁寧にする必要がある。黄色のもの（バナナ1個、車1台）の数だけタンバリンを叩く問は、8人が正解しており、和集合の概念は既に所有している園児が多いと考える。